



## 専門技術者によるMSの測定・データ解析の支援を始めました

### 質量分析 (MS)

### 測定・データ解析をサポート

府中キャンパスでは、昨年末に遺伝子実験施設から6号館に移設された2台のMS

- ・LTQ Orbitrap XL (Thermo Scientific)

- ・TOF/TOF 5800 (AB SCIEX)と、

大学院連合農学研究科棟にある

- ・JMS-S3000 SpiralTOF (日本電子)の、

合わせて3台のMSがSCOPサポート体制下で稼働しています。

府中キャンパスに設置された3台のMSは、いずれも定性分析に力を発揮します。

サンプルの性質、状態、量などを参考に、分析目的に適したご提案をさせていただきます。

また、測定済みのデータについて、データの解釈や解析法のサポート、より良い結果を得るためのご相談にも対応いたします。まずはメールにてご相談ください。



#### ← LTQ Orbitrap XL ESI-MS、LC-MS/MS

プロテオミクスや抽出物の分析などに対応。高い質量精度が特徴。



#### ← TOF/TOF 5800 MALDI-TOF/TOFMS

(LC-MALDI対応予定) プロテオミクスやインタクトな蛋白質の分析などに対応。PMFなど手軽さが特徴。

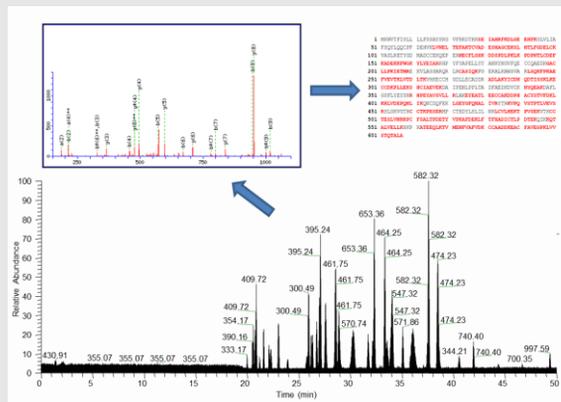


#### ← JMS-S3000 MALDI-SpiralTOFMS

有機低分子の精密質量、構造解析、合成高分子分析などに対応。高い質量精度が特徴。

現在、専門技術者2名(伊藤・久田)が対応しており、主に月・木に府中6号館104室で活動しています。

今後は、小金井キャンパス機器分析施設のMSもSCOPサポート体制のもとで分析支援を行い、全学的なよりよいサポート体制を作っていきたいと思えます。



LTQ Orbitrap XL を用いた蛋白質の同定例  
サンプル：BSAトリプシン消化物(50 fmol)

MS 測定のサポートをご希望の方は

窓口担当 [ymatsu@cc.tuat.ac.jp](mailto:ymatsu@cc.tuat.ac.jp)までお問合せ下さい。